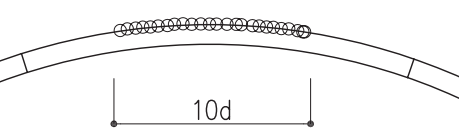
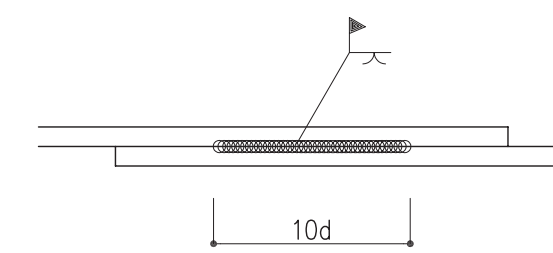


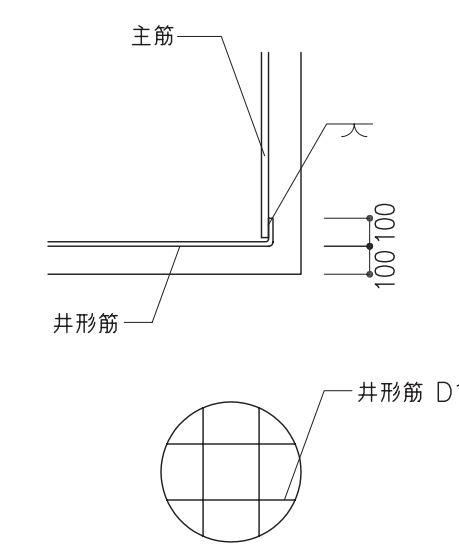
杭リスト S=1/50

杭符号	P1	P1A	P2	P22	P2A	P2B	P11B	P12A	P12C	
杭径	1500φ	1500φ	1200φ	1200φ	1200φ	1200φ	1500φ	1200φ	1200φ	
杭耐力	長期	4820kN	4370kN	3110kN	3110kN	3110kN	4750kN	3110kN	3110kN	
	短期	9750kN	8850kN	6280kN	6280kN	6280kN	9600kN	6280kN	6280kN	
本数	13	1	28	1	5	1	1	1	1	
杭長 L	7400	7400	6900	6900	6600	6000	9900	10600	9400	
杭天端 D	1FL-2250	1FL-3350	1FL-2250	1FL-2250	1FL-2550	1FL-3150	2FL-3450	2FL-2750	2FL-3950	
断面										
	杭頭筋, 主筋	24-D29	24-D29	14-D29	18-D29	14-D29	14-D29	22-D29	14-D29	14-D29
フープ	D13φ150	D16φ125	D13φ150	D13φ150	D13φ150	D16φ150	D13φ150	D13φ150	D13φ150	

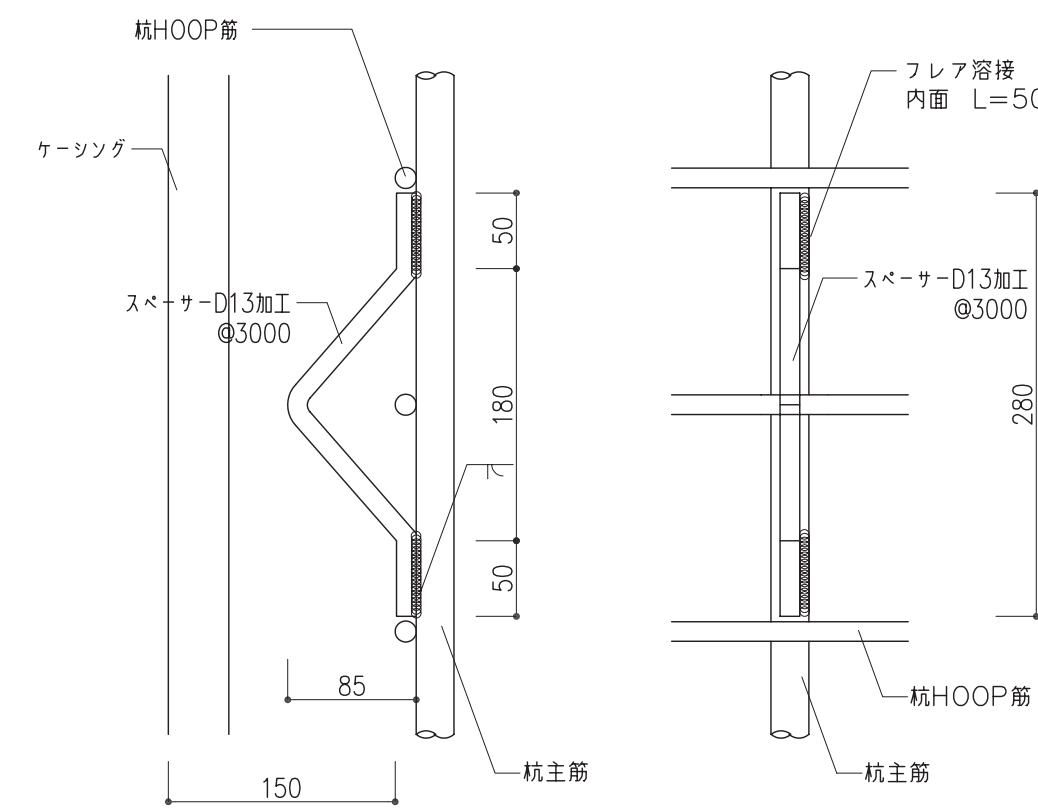
杭符号	P13	P13A	P13B	P13C		
杭径	1000φ	1000φ	1000φ	1000φ		
杭耐力	長期	2200kN	2200kN	2200kN		
	短期	4460kN	4460kN	4460kN		
本数	4	3	1	2		
杭長 L	11100	10600	10250	9400		
杭天端 D	2FL-2250	2FL-2750	2FL-3100	2FL-3950		
断面						
	杭頭筋, 主筋	12-D25	12-D25	12-D25	12-D25	
フープ	D13φ150	D13φ150	D13φ150	D13φ150		



フープ継手詳細図 S=1/5



杭先端配筋詳細図 S=1/30



スベークー詳細図 S=1/5

杭仕様	工法: 全周回転式オールケーシング工法
1) コンクリート	設計基準強度: $F_c = 30N/mm^2$ , 水セメント比: 55%以下, スランプ: 18cm 単位セメント量: $350kg/m^3$ 以上 単位水量: $190kg/m^3$ 以下
2) 鉄筋	主筋: SD345 (D25), SD390 (D29) HOOP: SD295A
3) 鋼管	
杭 特記事項	
1) 加工組立	継ぎ手 イ) 主筋: 45d以上の重ね継ぎ手とし、結束線にて脱落等のないように約束する。 ロ) フープ: 溶接長10d以上のフラアグループアーク溶接継ぎ手とし、主筋1本おきに千鳥に溶接する。 補強リング: FB-9x50間隔は3.0m以内とし、主筋全数に溶接する また、第2補強リングを必要に応じて設けること。 スベークー: D13 (加工) φ3000とする。 取り付け位置は補強リング1箇所当たり4個以上を上下千鳥に取り付け主筋に溶接する。 かぶり厚: 主筋のかぶり厚さは150mmとする。
2) 掘削	スワム処理: 孔底のスワム除去を完全に行う。
3) コンクリート打設	トレミー工法による水中コンクリート打ちとし、打設中はトレミー管が常に2.0m以上挿入した状態で施工する(コンクリートは連続打設とする)。
4) 杭余盛りの処理	余盛りは800mmとし、主筋の露出部分に塩ビフィルム等を巻き付着を除去する。 所定の位置においてコンクリートを水平にはつりとする。
5) 杭先端の根入れ	杭の先端は支持地盤に1.0mかつ杭径の1/2以上根入れさせる。